

## 平成30年度事業報告書

### 1. 事務所

東京都千代田区九段北4-1-20 歯科医師会館内

### 2. 設立年月日

平成12年12月1日（平成23年4月1日より公益財団法人認定）

### 3. 基本財産

390,116,335円

### 4. 役員（平成31年3月31日現在）

役職	氏名	所属団体等
理事長	堀 憲 郎	(公社)日本歯科医師会会長
副理事長	濱 田 和 生	サンスター(株)代表取締役会長
副理事長	佐 藤 保	(公社)日本歯科医師会副会長
専務理事	高 野 直 久	(公社)日本歯科医師会常務理事
常務理事	蓮 池 芳 浩	(公社)日本歯科医師会理事
常務理事	小 玉 剛	(公社)日本歯科医師会常務理事
常務理事	川原田 哲 也	サンスター(株)役員待遇
理 事	小 口 幸 介	(株)ロッテ総務部上席執行役員
理 事	大 谷 泰 夫	社会福祉法人日本保育協会理事長
理 事	平 田 幸 夫	神奈川歯科大学評議員・特任教授
理 事	飯 島 勝 矢	東京大学高齢社会総合研究機構教授
理 事	岡 野 知 道	ライオン(株)研究開発本部執行役員・本部長
理 事	井 上 なつき	(株)ロッテ中央研究所チューニング`研究部部長
理 事	坂 本 敏 浩	パナソニック(株)アプライアンス社 ビューティリビング事業部事業部長
理 事	湯 浅 徹	サンスター(株)医科歯科営業部部長渉外担当
理 事	川 本 強	一般社団法人日本学校歯科医会会長
理 事	武 井 典 子	(公社)日本歯科衛生士会会長
理 事	森 田 晴 夫	(一社)日本歯科商工協会会長
理 事	住 友 雅 人	日本歯科医学会会長
理 事	深 井 稷 博	元(公社)日本歯科医師会常務理事
理 事	小 林 慶 太	(公社)日本歯科医師会常務理事
理 事	恒 石 美登里	日本歯科総合研究機構主任研究員
常務監事	小 山 茂 幸	(公社)日本歯科医師会常務理事
監 事	石 井 拓 男	東京歯科大学短期大学学長

## 5. 評議員 (平成31年3月31日現在)

氏名	所属団体等
山口勝弘	(一社)青森県歯科医師会会長
砂川稔	(一社)千葉県歯科医師会会長
山崎一男	(公社)東京都歯科医師会会長
田所泰	(公社)三重県歯科医師会会長
澤田隆	(一社)兵庫県歯科医師会会長
渡邊公人	(一社)島根県歯科医師会会長
豊嶋健治	(公社)香川県歯科医師会会長
熊澤榮三	(一社)福岡県歯科医師会会長
杉岡範明	(公社)日本歯科技工士会会長
齋藤秀子	(一社)日本学校歯科医会副会長
宮内啓友	(株)ミヤウチ代表取締役社長
大槻秀彦	サンスター(株)医科歯科営業部学術担当部長
満武純	ライオン(株)ヘルス&ホームケア事業本部副本部長
川治久邦	パナソニック(株)アプライアンス社 ビューティ・リビング事業部商品企画部部長
岡林一登	(株)ロッテ広報部渉外課課長
鐘溝和子	(公社)母子保健推進会議常務理事・事務局長
三橋裕行	(一社)日本家族計画協会常務理事
安藤孝	(公財)母子衛生研究会理事・事務局長
小松龍史	(公社)日本栄養士会代表理事会長
上谷律子	(一財)日本食生活協会会長
多田羅浩三	(一財)日本公衆衛生協会会長

## 6. 事務局

職員3名 嘱託1名

## 7. 賛助会員

(平成31年3月31日現在)

A会員(歯科医師会) ..... 257 歯科医師会

日本歯科医師会(1)、都道府県歯科医師会(47)、郡市区歯科医師会(209)

B会員(団体・会社) ..... 42 団体・会社

### ○団体

日本歯科衛生士会、日本歯科技工士会、日本学校歯科医会、日本歯科器械工業協同組合、日本歯科材料工業協同組合、日本歯科用品卸商業組合、日本歯科用品輸入協会、日本歯材同友会、日本歯科用品商協同組合連合会、日本歯磨工業会 他(12 団体)

### ○企業

サンスター(株)、ライオン(株)、パナソニック(株)、(株)ロッテ、メットライフ生命保険(株)、花王(株)、昭和薬品化工(株)、デンタルプロ(株)、アサヒブリテック(株)、損害保険ジャパン日本興亜(株)、東京海上日動火災保険(株)、三井住友信託銀行(株)、(株)社会保険研究所 他(29 社)

- C会員（個人） ..... 254名  
○歯科医師(139名)  
○歯科医師以外の個人(115名)

## 8. 会 議

### (1) 理事会

#### ① 第4回理事会（書面による決議）

第15回評議員会を開催するにあたり、平成30年5月18日、理事及び監事に対し第15回評議員会日程及び議案を送付し、全理事より同意書、監事より確認書を受理した。

本財団定款第42条の規定及び一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条の規定により、下記のとおり理事会の決議があったものとみなされた。

#### 第1号議案 第15回評議員会議事次第

第15回評議員会議事次第	
日 時	平成30年6月27日（水）午後11時15分～同12時15分
場 所	東京都歯科医師会 3階 第一会議室
1. 開会の辞	
2. 議長の選出	
3. 議事録署名人の選任	
4. 挨拶	
5. 報 告	
	①会務報告
	②各所管報告
6. 議 事	
第1号議案	評議員辞任に伴う後任評議員の選任
第2号議案	理事辞任に伴う後任理事の選任
第3号議案	平成29年度事業報告及び収支決算報告
7. 閉会の辞	

第2号議案 評議員辞任に伴う後任評議員の選任

第3号議案 理事辞任に伴う後任理事の選任

第4号議案 平成29年度事業報告及び収支決算報告

・上記の提案をした理事 堀 憲郎 理事

・理事会の決議があったものとみなされた日 平成30年5月24日

## ② 第5回理事会

日 時：平成30年6月27日（水）午後10時30分～同11時

場 所：東京都千代田区九段北4丁目1番20号 歯科医師会館会議室

出席者：（理 事）堀 憲郎、濱田和生、佐藤 保、高野直久、蓮池芳浩、小玉 剛、  
川原田哲也、平田幸夫、岡野知道、湯浅 徹、武井典子、森田晴夫、  
深井穂博、小林慶太、山本美登里

（欠 席）大谷泰夫、飯島勝矢、井上なつき、坂本敏浩、川本 強、住友雅人

（監 事）小山茂幸

（欠 席）石井拓男

議 長：理事長 堀 憲郎

### 会議の成立

高野専務理事より、理事総数21名のうち過半数の15名の出席を受け、定款第40条「理事会は、理事の過半数の出席がなければ会議を開くことができない。」を満たしている旨の報告がなされ、議長が開催を宣した。

1. 開会の辞 副理事長 佐藤 保

2. 挨拶 理事長 堀 憲郎

### 3. 報 告

議長による進行に従い、以下の報告が行われた。

#### (1) 書面による決議に関する報告

高野専務理事より、平成30年5月18日付財団発第26号にて実施した書面決議（第4回理事会）において、提案された以下の議案が全て可決承認された旨の報告がなされた。

（理事会決議があったものとみなされた日：平成30年5月24日）

①第15回評議員会議事次第、②評議員辞任に伴う後任評議員の選任、③理事辞任に伴う後任理事の選任、④平成29年度事業報告及び収支決算報告

#### (2) 会務報告

高野専務理事より、会務現況として以下の事項の概要について報告がなされた。

①監事会の開催、②平成29年度調査研究事業「歯科医療による健康増進効果に関する調査研究」、③理事長賞の贈呈、④公募研究、⑤助成事業募集、⑥ポスター募集チラシの発送、⑦フォーラム8020について、⑧歯科保健事業報告会・公募研究発表会、⑨宝くじ協会助成小冊子の作成、⑩その他

#### (3) 第15回評議員会の運営について

第4回理事会（書面決議）にて承認された本日開催の第15回評議員会の議案について、資料をもとに評議員会における説明内容の確認を行った。

高野専務理事より、第1号議案「評議員辞任に伴う後任評議員の選任」、第2号議案「理事辞任に伴う後任理事の選任」について、それぞれ資料に基づき説明がなされた。

続いて、第3号議案「平成29年度事業報告及び収支決算報告」について、事業報告は高野専務理事より、決算報告は会計担当の蓮池常務理事より、監査報告は小山常務監事より資料に基づき説明がなされた。

### 4. 協 議

高野専務理事より、広報委員会の委員構成について提案があり、議長が意見を求めたところ、委員会名簿に基づき、了承された。

5. 閉会の辞

常務理事 蓮池芳浩

議事録署名人

理事長 堀 憲 郎

監 事 小 山 茂 幸

③ 第6回理事会

日 時：平成30年9月19日（水）午後4時～同5時

場 所：東京都千代田区九段北4丁目1番20号 歯科医師会館会議室

出席者：(理 事) 堀 憲郎、濱田和生、佐藤 保、高野直久、小玉 剛、川原田哲也、  
大谷泰夫、平田幸夫、井上なつき、岡野知道、湯浅 徹、川本 強、  
武井典子、森田晴夫、小林慶太、山本美登里

(欠 席) 蓮池芳浩、小口幸介、飯島勝矢、坂本敏浩、深井穫博、住友雅人

(監 事) 小山茂幸、石井拓男

議 長：理事長 堀 憲郎

会議の成立

高野専務理事より、理事総数22名のうち過半数の16名の出席を受け、定款第40条「理事会は、理事の過半数の出席がなければ会議を開くことができない。」を満たしている旨の報告がなされ、議長が開催を宣した。

1. 開会の辞

副理事長 佐藤 保

2. 挨拶

理 事 長 堀 憲 郎

3. 報 告

議長による進行に従い、以下の報告が行われた。

(1) 会務報告

高野専務理事より、会務現況として以下の事項の概要について報告がなされた。

①理事会の開催、②評議員会の開催、③会計報告、④会誌8020の作成、⑤ホームページの整備、⑥国民向け啓発小冊子の作成、⑦歯科保健事業報告会・公募研究発表会の開催、⑧8020運動ポスターの募集、⑨理事長賞の贈呈、⑩助成事業募集、⑪公募研究事業、⑫歯科医療による健康増進効果に関する調査研究、⑬永久歯の抜歯原因調査、⑭ロゴマーク使用許可審査、⑮都道府県歯科保健条例の制定状況、⑯噛むカムチェックガムを用いた8020普及啓発事業

(2) その他

佐藤副理事長より、8020運動30周年事業について報告がなされた。

4. 議 事

第1号議案 ポスター審査会委員（追加）の選任について

高野専務理事より、ポスター審査会規程第3条第1項「審査会の委員は、学識経験者のうちから、理事会が選任し、理事長が委嘱する。」の規定により、以下の通りポスター審査会委員を選任する旨、説明がなされた。

次いで議長がその賛否を議場に諮ったところ、過半数の賛成を得て、原案どおり可決確定した。

#### ポスター審査会委員

栗原 良彰 東京藝術大学 非常勤講師

なお、任期は前任者の任期満了の時、平成31年6月の定時評議員会までとする。

#### 第2号議案 平成30年度歯科保健活動事業の採択及び助成額について

高野専務理事より、地域歯科保健への助成事業として地域保健活動推進委員会より報告のあった審査結果に基づき平成30年度歯科保健活動事業を採択し、助成交付を行う旨、説明がなされた。

次いで議長がその賛否を議場に諮ったところ、過半数の賛成を得て、原案どおり可決確定した。

#### 第3号議案 平成30年度公募研究課題の採択及び助成額について

高野専務理事より、8020達成のための歯科保健に係わる公募研究に対する助成事業として調査研究委員会より報告のあった審査結果に基づき平成30年度公募研究課題を採択し、助成交付を行う旨、説明がなされた。

次いで議長がその賛否を議場に諮ったところ、過半数の賛成を得て、原案どおり可決確定した。

### 5. 協 議

#### (1) 財団運営における協議のあり方について

財団理事会における協議のあり方、テーマ等について意見交換がなされた。

### 6. 閉会の辞

副理事長 佐藤 保

議事録署名人

理事長 堀 憲 郎

監 事 小 山 茂 幸

監 事 石 井 拓 男

#### ④ 第7回理事会

日 時：平成31年2月27日（水）午前11時～同12時

場 所：東京都歯科医師会 3階 第一会議室

出席者：(理事) 堀 憲郎、濱田和生、佐藤 保、高野直久、蓮池芳浩、小玉 剛、川原田哲也、大谷泰夫、平田幸夫、井上なつき、湯浅 徹、川本 強、武井典子、森田晴夫、深井穂博、小林慶太、山本美登里

(欠 席) 小口幸介、飯島勝也、岡野知道、坂本敏浩、住友雅人

(監 事) 小山茂幸、石井拓男

#### 会議の成立

堀理事長より、開会が宣せられ事務局より定足数の確認が行われた。

高野専務理事より出席人数が報告され、堀理事長より会議の成立が報告された。

※理事総数22名のうち過半数の17名が出席。定款第40条「理事会は、理事の過半数の出席がなければ会議を開くことができない。」を満たし、会議は成立した。

1. 開会の辞 副理事長 佐藤 保
2. 挨拶 理事長 堀 憲郎  
堀理事長より職務執行報告を兼ねた挨拶を行った。

3. 報告  
(1) 会務報告

高野専務理事より、会務現況として以下の事項の概要について報告がなされた。  
①会誌「8020」の作成、②ホームページの整備、③国民向け啓発小冊子の作成、  
④歯科保健活動事業報告会・公募研究発表会、⑤8020運動ポスター募集について、  
⑥財団理事長賞、⑦ロゴマークについて、⑧噛むカムチェックガムを用いた8020普及啓発事業、  
⑨歯科保健活動助成、⑩公募研究、⑪広報関係、⑫「歯科医療による健康増進効果に関する調査研究」患者追跡調査、⑬第2回永久歯の抜歯原因調査、  
⑭8020運動30周年記念式典・シンポジウム

(2) その他

蓮池常務理事より、会計を含む事務局体制整備に関し資料をもとに報告があり、引き続き会計業務・管理体制の整備を行う旨、説明がなされた。

4. 議 事

第1号議案 第16回評議員会議事次第

高野専務理事より定款36条理事会の権限における2項「評議員会の日時及び場所並びに目的である事項の決定」の規定により、以下の通り第16回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項が提案なされ、全員異議なく承認した。

公益財団法人8020推進財団 第16回 評議員会議事次第	
開催日時	平成31年3月19日(火) 午前11時～同12時
開催場所	歯科医師会館 7階701・702会議室
1. 開会の辞	副理事長 佐藤 保
2. 議長の選出	
3. 議事録署名人の選任	
4. 挨拶	理事長 堀 憲郎
5. 報告	専務理事 高野直久
①2019年度賛助会費の額	
②2019年度事業計画及び収支予算	
③資金調達及び設備投資の見込みについて	
6. 閉会の辞	常務理事 蓮池芳浩

## 第2号議案 2019年度賛助会費の額

蓮池常務理事より、2019年度の賛助会費の額を2018年度(平成30年度)と同額とする旨、提案がなされ、全員異議なく承認した。

## 第3号議案 2019年度事業計画及び収支予算

高野専務理事より、事業計画の基本方針、事業内容について資料に基づき提案がなされたのち、蓮池常務理事より、2019年度収支予算について以下の通り提案がなされ、全員異議なく承認した。

2019年度収支予算はOAG税理士法人の指導を受けて新公益法人会計基準に則り作成し、事業活動収入計は127,662,000円、事業活動支出計は135,730,000円、事業活動収支差額は△8,068,000円。投資活動収入計は1,000,000円、投資活動支出計654,000円、投資活動収支差額は346,000円、財務活動収支差額は0円、予備費支出は0円で、当期収支差額は△7,722,000円となる。

また、損益計算ベースは収支予算書を基に、OAG税理士法人の指導を受けて新公益法人会計基準に則り作成している。この損益計算ベースは、「減価償却費」及び「退職給付引当」を計上している。内閣府への報告は、この損益計算ベースの収支予算をもって行う。

## 第4号議案 資金調達及び設備投資の見込みについて

高野専務理事より2019年4月1日から2020年3月31日までの見込みについて、以下の通り提案され、全員異議なく承認した。

資金調達の見込みについては、当期中における金融機関からの借り入れの予定はない。設備投資の見込みについては当期中における重要な設備投資(除却又は売却を含む。)の予定はない。

2019年度事業は2018年度(平成30年度)事業を基本的に踏襲し実施することとしており、新規事業における「資金調達及び設備投資の見込みについて」は特に発生しない。

## 5. 協 議

### (1) 国民を意識した8020広報活動について

8020推進財団の国民向け啓発事業について、蓮池常務理事と小林理事より今年度の整備事項・成果が資料に基づき報告がなされたのち、意見交換を行った。会誌「8020」、啓発小冊子、ホームページなどを更に活用し、引き続き国民に分かりやすい啓発・広報活動を進めることとした。

## 6. 閉会の辞

常務理事 蓮池 芳 浩

議事録署名人

理事長 堀 憲 郎

監 事 小 山 茂 幸

監 事 石 井 拓 男

## (2) 評議員会

### ① 第15回評議員会

日 時：平成30年6月27日（水）午前11時15分～同12時15分

場 所：東京都千代田区九段北4丁目1番20号 歯科医師会館会議室

出席者：（評議員）山口勝弘、砂川 稔、山崎一男、田所 泰、渡邊公人、熊澤榮三、杉岡範明、齋藤秀子、宮内啓友、大槻秀彦、岡林一登、鏈溝和子、三橋裕行、安藤 孝、  
（欠 席）澤田 隆、豊嶋健治、満武 純、小松龍史、上谷律子、多田羅浩三  
（理 事）堀 憲郎、濱田和生、佐藤 保、高野直久、蓮池芳浩、小玉 剛、川原田哲也、平田幸夫、岡野知道、湯浅 徹、武井典子、森田晴夫、深井穂博、小林慶太、山本美登里  
（欠 席）大谷泰夫、飯島勝也、井上なつき、坂本敏浩、川本 強、住友雅人  
（監 事）小山茂幸  
（欠 席）石井拓男

議 長：田所 泰

議事録署名人：砂川 稔、岡林一登

### ○会議の成立

開会に先立ち、高野専務理事より日程の一部を変更し、定款第21条「評議員会の議長は、その評議員会において、出席した評議員の中から選出する。」の規定に基づき、議長を執行部一任のもと選出する旨提案され、田所 泰評議員を議長に選出。

議長が出席者数を確認し、評議員総数20名のうち過半数の14名が出席となり、定款第22条「評議員会は評議員の過半数の出席がなければ開催することができない。」を満たしている旨を報告の上、開会を宣し、審議に入った。

### ○議長の選出

定款第21条の規定に基づき、田所 泰評議員を議長に選出したい旨、執行部（高野専務理事）より提案があり、了承された。

### ○議事録署名人の選任

定款第24条第2項「議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が、署名、押印をしなければならない。」の規定に基づき、砂川 稔評議員、岡林一登評議員を選任したい旨、執行部（高野専務理事）より提案があり、了承された。

## 一 報告

### (1) 会務報告

高野専務理事より、会務現況として以下の事項の概要について報告がなされた。

①監事会の開催、②平成29年度調査研究事業「歯科医療による健康増進効果に関する調査研究」、③理事長賞の贈呈、④公募研究、⑤助成事業募集、⑥ポスター募集チラシの発送、⑦フォーラム8020について、⑧歯科保健事業報告会・公募研究発表会、⑨宝くじ協会助成小冊子の作成、⑩その他

### (2) 各所管報告

佐藤副理事長より、8020運動30周年事業について報告がなされた。

## 二 決議事項

### 第1号議案 評議員辞任に伴う後任評議員の選任

高野専務理事より、定款第13条第1項「評議員の選任及び解任は、評議員会において行う」の規定により、以下の通り評議員辞任に伴う後任評議員を選任する旨、説明がなされた。

次いで議長がその賛否を議場に諮ったところ、過半数の賛成を得て、原案どおり可決確定した。

辞任評議員	後任評議員
奥平 邦夫 パナソニック株式会社 アプライアンス社 ビューティ・リビング事業部 営業企画部部長	川治 久邦 パナソニック株式会社 アプライアンス社 ビューティ・リビング事業部 商品企画部長

なお、任期は前任者の任期満了の時、平成31年6月の定時評議員会までとする。

#### 第2号議案 理事辞任に伴う後任理事の選任

高野専務理事より、定款第27条第1項「理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する」の規定により、以下の通り理事辞任に伴う後任理事を選任する旨、説明がなされた。

次いで議長がその賛否を議場に諮ったところ、過半数の賛成を得て、原案どおり可決確定した。

辞任理事	後任理事
辻 清 株式会社ロッテ 執行役員・広報部長	小口 幸介 株式会社ロッテ 総務部上席執行役員

なお、任期は前任者の任期満了の時、平成31年6月の定時評議員会までとする。

#### 第3号議案 平成29年度事業報告及び収支決算報告

定款第10条第1項「本財団の事業報告及び決算は、毎事業年度終了後、理事長が事業報告書及び計算書類並びにこれらの付属明細書、財産目録として作成し、監事の監査を受け、理事会において承認を得たうえで、定時評議員会の承認を得るものとする」の規定により、平成29年度事業報告について高野専務理事より資料に基づいて説明がなされた。

引き続き、平成29年度収支決算については、蓮池常務理事より資料に基づいて貸借対照表、正味財産計算書、付属明細書、財産目録について説明がなされ、議長が小山常務監事に監査報告を求めたところ、監事からは監査報告書に記載したとおりである旨の報告が行われた。

次いで議長がその賛否を議場に諮ったところ、過半数の賛成を得て、原案どおり可決確定した。

以上をもって本日の議案をすべて終了したので、議長は閉会を宣した。

議事録署名人

議長 田 所 泰

評議員 砂 川 稔

評議員 岡 林 一 登

② 第16回評議員会

日 時：平成31年3月19日（火）午前11時～同12時

場 所：歯科医師会館 7階 701・702会議室

出席者：（評議員）山口勝弘、砂川 稔、山崎一男、田所 泰、渡邊公人、豊嶋健治、  
杉岡範明、齋藤秀子、宮内啓友、大槻秀彦、岡林一登、満武 純、  
鏑溝和子、三橋裕行、安藤 孝、多田羅浩三

（欠 席）澤田 隆、熊澤榮三、川治久邦、小松龍史、上谷律子、

（理 事）堀 憲郎、濱田和生、佐藤 保、高野直久、蓮池芳浩、小玉 剛、  
川原田哲也、平田幸夫、岡野知道、井上なつき、湯浅 徹、川本 強、  
住友雅人、深井穰博、小林慶太、山本美登里

（欠 席）小口幸介、大谷泰夫、飯島勝矢、坂本敏浩、武井典子、森田晴夫

（監 事）小山茂幸、石井拓男

議 長：田所 泰

議事録署名人：山崎一男、渡邊公人

開会に先立ち、高野専務理事より日程の一部を変更し、定款第21条「評議員会の議長は、その評議員会において、出席した評議員の中から選出する。」の規定に基づき、議長を執行部一任のもと選出する旨提案され、田所 泰評議員を議長に選出。

議長が、本評議員会の成立（※）を宣し、審議に入った。

※評議員総数21名のうち過半数の16名が出席。定款第22条「評議員会は評議員の過半数の出席がなければ開催することができない。」を満たし、会議は成立した。

1. 開会の辞 副理事長 佐藤 保

2. 議長の選出  
定款第21条の規定に基づき、田所 泰評議員を議長に選出したい旨、執行部より提案があり、了承された。

3. 議事録署名人の選任  
定款第24条第2項「議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が、署名、押印をしなければならない。」の規定に基づき、山崎一男評議員、渡邊公人評議員を選任したい旨、執行部より提案があり、了承された。

4. 挨拶 理事長 堀 憲郎

5. 報 告

① 会務報告

高野専務理事より、平成30年度の会務現況について以下の事項の概要について報告がなされた。

(1)会誌「8020」第18号の発行、(2)ホームページの整備、(3)国民向け啓発小冊子の作成、(4)噛むカムチェックガムを用いた8020普及啓発事業、(5)歯科保健事業報告会・公募研究発表会の開催、(6)平成30年度8020運動ポスター募集、(7)財団理事長賞、(8)ロゴマーク使用許可申請について、(9)会員レターの発行、(10)平成30年度歯科保健活動事業への助成、(11)平成30年度公募研究事業、(12)広報関係、(13)「歯科医療による健康増進効果に関する調査研究」追跡調査、(14)第2回永久歯の抜歯原因調査、(15)「8020運動30周年記念式典・シンポジウム」の開催、(16)8020アンケート・プレゼントキャンペーン（第9弾）、(17)理事会・評議員会・監事会の開催状況、(18)その他

② 2019年度賛助会費の額

蓮池常務理事より、2019年度賛助会費の額について、資料に基づき前年度と同額にする旨の報告がなされた。

③ 2019年度事業計画及び収支予算

高野専務理事より、事業計画の基本方針、事業内容について資料に基づき報告がなされ、続いて蓮池常務理事より、2019年度収支予算について、以下の通り報告がなされた。

2019年度収支予算はOAG税理士法人の指導を受けて新公益法人会計基準に則り作成し、事業活動収入計は127,662,000円、事業活動支出計は135,730,000円、事業活動収支差額は△8,068,000円。投資活動収入計は1,000,000円、投資活動支出計654,000円、投資活動収支差額は346,000円、財務活動収支差額は0円、予備費支出は0円で、当期収支差額は△7,722,000円となる。

また、損益計算ベースは収支予算書を基に、OAG税理士法人の指導を受けて新公益法人会計基準に則り作成している。この損益計算ベースには、「減価償却費」「退職引当金」を計上している。内閣府への報告は、この損益計算ベースの収支予算をもって行う。

④ 資金調達及び設備投資の見込みについて

高野専務理事より2019年4月1日から2020年3月31日までの見込みについて、以下の通り報告がなされた。

資金調達の見込みについては、当期中における金融機関からの借り入れの予定はない。設備投資の見込みについては当期中における重要な設備投資（除却又は売却を含む。）の予定はない。

2019年度事業は2018年度（平成30年度）事業を基本的に踏襲し実施することとしており、新規事業における「資金調達及び設備投資の見込みについて」は特に発生しない。

⑤ その他

8020推進財団の国民向け啓発事業について、蓮池常務理事と小林理事より今年度の整備事項・成果が資料に基づき報告がなされたのち、意見交換を行った。

会誌「8020」、啓発小冊子、ホームページなどを更に活用し、引き続き国民に分かりやすい啓発・広報活動を進めることとした。

6. 閉会の辞

常務理事 蓮池 芳浩

議事録署名人

議長 田所 泰

評議員 山崎 一男

評議員 渡邊 公人

### (3) 委員会等

平成30年度事業計画に基づき事業を推進するため、下記の委員会を開催した。

- ① 8020ロゴマーク使用許可審査委員会  
書面審査 平成30年 4月 4日 株式会社ロッテ  
書面審査 平成30年 5月10日 サンスター株式会社  
書面審査 平成30年 7月13日 サンスター株式会社  
書面審査 平成30年 9月 4日 サンスター株式会社  
書面審査 平成30年 9月 4日 パナソニック株式会社  
書面審査 平成30年10月 3日 サンスター株式会社  
書面審査 平成30年10月19日 サンスター株式会社  
書面審査 平成30年11月19日 サンスター株式会社  
書面審査 平成31年 1月30日 サンスター株式会社  
書面審査 平成31年 1月30日 株式会社ロッテ  
書面審査 平成31年 3月22日 サンスター株式会社
- ② 8020会誌編集委員会  
第4回委員会 平成30年 7月 4日  
第5回委員会 平成31年 3月19日
- ③ 8020広報委員会  
第1回委員会 平成30年 7月 4日  
第2回委員会 平成30年11月26日  
第3回委員会 平成31年 3月19日
- ④ 8020地域保健活動推進委員会  
第2回委員会 平成30年 7月25日
- ⑤ 8020調査研究委員会  
第2回委員会 平成30年 8月22日
- ⑥ 8020運動ポスター審査会  
審査会 平成30年11月 6日
- ⑦ 調査研究事業検討会  
第3回検討会 平成30年10月 2日  
第4回検討会 平成31年 3月12日

## 9. 事業活動

### (1) 歯科保健事業報告会・公募研究発表会の開催

9月1日(土)午後1時から、歯科医師会館1階大会議室において、標記報告会・発表会を開催した。

この報告会・発表会は関係委員会より、地域活動事業報告、公募研究報告について発表する機会を要望する意見が寄せられていたことから平成24年7月を初回に、毎年開催している。本年は平成28年度の歯科保健活動助成事業報告、同8020公募研究報告(事業・研究の成果報告は平成29年度に提出)の中から関係の各委員会にて精査の上、優れたもの各3題を採択し発表した。参加者は約70名であった。

#### ●プログラム

- |                              |                   |       |
|------------------------------|-------------------|-------|
| <input type="checkbox"/> 開 会 | (公財)8020推進財団 専務理事 | 高野 直久 |
| <input type="checkbox"/> 挨 拶 | (公財)8020推進財団 副理事長 | 佐藤 保  |

□平成28年度歯科保健活動助成事業報告から

①徳島県後期高齢者歯科健診データヘルス事業

一般社団法人 徳島県歯科医師会 常務理事 岡本 好史

②横浜市の学童期における歯科保健実態調査

一般社団法人 横浜市歯科医師会地域保健委員会 常務理事 小杉 禎久

③食べることを支援するまちづくりⅡ～ごっくん予防プロジェクト～

特定非営利活動法人 メディカルケア協会 東京代表理事 小野 有香里

□質疑応答 <司会> (公財) 8020推進財団 専務理事 高野 直久  
理 事 恒石美登里

□休 憩

□平成28年度8020公募研究報告からの発表

④歯周病関連マーカーと動脈硬化進展に関するコホート研究の構築

愛媛大学大学院医学系研究科地域健康システム看護学 教授 斉藤 功

⑤訪問歯科診療(在宅・老人保健施設)におけるインプラントの実態とその問題点

日本大学歯学部歯科補綴学第Ⅲ講座 准教授 萩原 芳幸

⑥医科歯科連携事業(糖尿病-歯周病の紹介基準等に関する研究)

一般社団法人 千葉県歯科医師会 前千葉県口腔保健センター長

松田 一郎

□質疑応答 <司会> (公財) 8020推進財団 専務理事 高野 直久  
理 事 恒石美登里

□閉 会 (公財) 8020推進財団 専務理事 高野 直久

## (2) 8020運動30周年 記念式典・シンポジウムの開催(フォーラム8020)

8020運動30周年にあたり、本運動の原点と経緯を振り返り、今後の展開について考えるとして、8020運動30周年記念式典・シンポジウム「笑顔の向こうに～人生100年時代、8020運動のこれから～」を開催した。

記念式典・シンポジウムは、本財団が毎年開催しているフォーラム8020を拡大して開催することとし、日本歯科医師会・日本学校歯科医会との共催にて、平成30年12月13日(木)に都内のイノホールにて開催し421名が参加した。

記念式典では8020運動功労者として本財団の賛助会員を含める11の企業・団体が表彰を行った。

また、シンポジウムでは「8020運動を振り返り、これからのを考える」田口円裕氏(厚生省医政局歯科保健課長)、「口腔健康管理は感染制御から」天野敦雄氏(大阪大学大学院歯学研究科口腔分子免疫制御学講座予防歯科学教室教授)、「歯から全身へ、全身から歯へ：歯科・口腔領域から健康増進を考える」米井嘉一氏(同志社大学大学院生命医科学研究科アンチエイジングリサーチセンター教授)、「新しい健康観「未病」と健康リテラシー」大谷泰夫氏(神奈川県立保健福祉大学理事長)、「健康長寿 鍵は“食力” 一国家戦略としてのフレイル予防・オーラルフレイル予防」飯島勝矢氏(東京大学高齢社会総合研究機構教授)の5つの講演を行い、講演後には5人の講師をパネリストに迎え、パネルディスカッションが行われた。

なお、シンポジウムの内容はHPに動画を掲載し、国民にも広く周知した。

## (3) 8020運動ポスターの募集

本財団では、「8020運動をより一層国民の方々に知っていただき、歯の健康について理解していただく」ことを目的に「8020運動ポスター」の募集を行っている。

平成30年9月30日に締切り、11月6日(火)に8020運動ポスター審査会を開催した。

325件という多数の応募の中、厳正な審査が行われ、佐藤隼人氏ら12人の方々の作品が選出された。委員には東京芸術大学美術学部絵画科 准教授・齋藤芽生氏、東京学芸大学 名誉教授・増田金吾氏の専門委員により審査が行われた。

<最優秀賞(1名)> 佐藤 隼人

<優秀賞(3名)> 中里 美紅、鍵谷 綾音、木田 瑞穂

<入選(8名)> 長南 芽依、山田 早紀、亀井 美緒、吉岡 真奈美、  
花房 歩美、吉田 有希、池上 歌那、成田 有彩花

なお、優秀作品はホームページに掲載し、8020の周知を行った。

#### (4) 調査・研究

<調査・研究の報告書作成>

① 平成29年度8020公募研究の成果をまとめた報告書を作成し、平成30年12月に賛助会員をはじめ関係方面に配付・周知した。

② 平成29年度8020推進財団歯科保健活動助成事業の成果をまとめた報告書を作成し、平成30年12月に賛助会員はじめ関係方面に配付・周知した。

#### (5) 平成30年度8020公募研究事業

8月22日(水)8020調査研究委員会を開催し、7月31日の締切りまでに応募のあった59題の公募研究申請について審査を行い、理事会を経て下記の18題の採択を決定し助成交付を行った。研究課題名と申請者は次のとおり。

<公募研究課題>

1. 歯科口腔保健に関する疫学研究

2. 8020と全身の健康(生活習慣病、フレイル、認知症、ADL、QOL等)に関する研究

3. 介護・医療(終末期医療を含む)等に関する研究

4. 小児・高齢者の口腔機能(摂食・嚥下機能を含む)及び口腔ケア等に関する研究

5. オーラルヘルスプロモーション及び歯の喪失防止に関する研究

6. 自由研究課題

<採択された公募研究>

	申請者	所属	職名	研究課題名
1	小林 恒	弘前大学大学院医学研究科 歯科口腔外科学講座	教授	一般地域住民における顎関節症状への寄与因子に関する大規模コホート研究
2	市橋 透	公益財団法人ライオン歯科 衛生研究所(研究開発室)	研究開発室長	某健康保険組合のビッグデータを活用した医療費、健康状態、口腔内状態の関連性に関する研究
3	山本 俊郎	京都府立医科大学 附属病院(歯科)	歯科診療副 部長・ 講師	8020と長寿について、口腔細菌叢と腸内細菌叢に関する研究～京丹後長寿コホート研究における医科歯科連携～
4	佐藤 公子	島根県立大学	教授	地域で生活する高齢者のオーラルフレイルに関連する要因-栄養と歯科口腔機能の向上が高齢者の身体的フレイルに与える影響

				の検討
5	高橋 克	京都大学大学院 医学研究科感覚運動系外科学講座口腔外科分野	准教授	歯周病と認知症の関連に関する研究-ながはまスタディー（継続）
6	長谷川 陽子	新潟大学大学院 医歯学総合研究科 包括歯科補綴学分野	講師	高齢者の転倒リスクに寄与する口腔因子の検索-四肢の筋・骨と口腔機能との関連性-
7	鈴木 啓之	東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科高齢者歯科学分野	医員	多職種連携医療（NST）における栄養と口腔機能の関連と歯科介入効果の検討
8	丹沢 秀樹	千葉大学医学部附属病院 歯科・顎・口腔外科	教授	医科総合病院入院患者における歯科口腔医療ニーズの検討
9	尾崎 研一郎	日本赤十字社足利赤十字病院 リハビリテーション科	歯科医師	市中病院に所属するリハビリテーション職員に対する歯科への意識調査～多施設共同研究～
10	井上 誠	新潟大学（医歯学系）	教授	身体フレイルおよびその変化はいかに口腔・嚥下機能にかかわるか
11	佐藤 秀夫	鹿児島大学病院 発達系歯科センター 小児歯科	講師	3Dカメラを応用した新規摂食嚥下機能検査システムの開発
12	中根 綾子	東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 医歯学系専攻老化制御学講座高齢者歯科学分野	助教	慢性期施設における嚥下障害者への頸部干渉波刺激が嚥下機能にもたらす効果
13	中川 量晴	東京医科歯科大学 医歯学総合研究科 高齢者歯科学分野	助教	悪性脳腫瘍患者に対する周術期口腔機能管理の効果に関する研究
14	西川 雅也	名古屋大学医学部附属病院 歯科口腔外科	病院助教	肺がん患者への周術期における口腔機能管理の有用性に関する研究
15	長谷川 正午	愛知学院大学歯学部 （顎顔面外科学講座）	非常勤講師	非燃焼・加熱式タバコも口腔がん発症に関与するか-次世代RNA-Se q 発現解析から-
16	山本 龍生	神奈川歯科大学 （大学院歯学研究科）	教授	2型糖尿病患者における歯周病と尿中アルブミンとの関係
17	岩崎 理浩	朝日大学（歯学部）	助教	人間ドック・健康診断における歯周疾患と脳血管疾患との関連性
18	田野 ルミ	国立保健医療科学院 （生涯健康研究部）	主任研究官	歯科医療機関における禁煙支援の現状と課題-多職種連携に基づくたばこ対策-

## (6) 平成30年度歯科保健活動事業への助成交付

7月25日(水)8020地域保健活動推進委員会を開催し、6月30日の締切りまでに応募のあった47題の歯科保健活動事業助成交付申請について審査を行い、理事会を経て下記の39題の採択を決定し、助成交付を行った。事業名と申請団体名は次のとおり。

区分	申請団体名	事業名	実施組織
一般社団法人	北海道歯科医師会	先進医療導入されたCAD/CAM冠と皮膚科連携	主催：北海道歯科医師会 共催：北海道歯科医技工学会、北海道歯科衛生士会 後援：北海道医療大学、北海道大学、札幌医科大学、旭川医科大学
一般社団法人	宮城県歯科医師会	特定健診会場における口腔保健指導の導入	一般社団法人宮城県歯科医師会
公益社団法人	東京都歯科医師会	子どもの虐待防止啓発活動	公益社団法人東京都歯科医師会 母子保健医療常任委員会
一般社団法人	神奈川県歯科医師会	緩和医療における歯科医療従事者の育成事業	一般社団法人神奈川県歯科医師会
一般社団法人	長野県歯科医師会	こども8020推進員育成事業	長野県歯科医師会
一般社団法人	新潟県歯科医師会	NPOとの協働による住民参加型歯科保健推進事業（は～もに～プロジェクト）	新潟県歯科医師会が事業主体となり、NPO法人まちづくり学校、新潟県福祉保健部、新潟市保健所、新潟大学、自治会等を加えた企画運営組織（通称：「は～もに～プロジェクト」）を形成し事業を実施してきた。
一般社団法人	静岡県歯科医師会	8020推進員による高齢者の口腔機能向上事業-オーラルフレイルの予防-	地域市町8020推進員会、静岡県健康福祉部医療健康局健康増進課 静岡県歯科医師会、静岡県衛生士会
一般社団法人	愛知県歯科医師会	食（特に朝食）の大切さを児童・保護者に伝え支援する事業	主催：（一社）愛知県歯科医師会 オブザーバー：愛知学院大学歯学部口腔衛生学、東海学園大学健康栄養部、公益社団法人愛知県栄養士会
公益社団法人	岐阜県歯科医師会	口腔乾燥の原因に関する調査事業	公益社団法人岐阜県歯科医師会
一般社団法人	大阪府歯科医師会	医科歯科合同研修会 がん患者における口腔機能及び口腔衛生管理への介入における効果について	主催：大阪府歯科医師会
公益社団法人	山口県歯科医師会	デイサービスにおける口腔機能低下予防に対する歯科との連携構築および口腔機能向上プログラム支援事業	公益社団法人山口県歯科医師会

一般社団法人	徳島県歯科医師会	徳島県後期高齢者歯科健診データヘルス事業	徳島県歯科医師会、徳島県後期高齢者医療広域連合、徳島大学
公益社団法人	香川県歯科医師会	薬局、医科診療所および町保健センターを起点とする地域住民のための多職種連携による歯科口腔保健推進システム構築のためのパイロット事業（2）	香川県歯科医師会、徳島大学歯学部予防歯学分野、まんのう町国保造田歯科診療所
一般社団法人	宮崎県歯科医師会	むし歯予防対策事業	一般社団法人宮崎県歯科医師会
一般社団法人	十勝歯科医師会	地域とともに8020推進活動	一般社団法人十勝歯科医師会
一般社団法人	仙台歯科医師会	3歳児カリエフスリー85プロジェクトの事業評価にかかるアンケート調査の実施	（一社）仙台歯科医師会、東北大学、仙台市、歯と口の健康づくりネットワーク会議
	会津若松歯科医師会	要介護者、障害者（児）等歯科保健医療サービスを受けることが困難な者を対象とした口腔ケア、口腔機能向上に関する事業	会津若松歯科医師会
公益社団法人	富岡甘楽歯科医師会	通所介護サービス（デイサービス）通所者を対象とした包括的な地域歯科保健の取り組み	公益社団法人富岡甘楽歯科医師会
一般社団法人	市川市歯科医師会	障がい者施設、特別支援学校を中心とした摂食・嚥下調査及び指導	一般社団法人市川市歯科医師会
一般社団法人	八千代市歯科医師会	咀嚼能力の維持・向上を期待した簡易的なトレーニング（ガム噛みトレーニング）普及事業	一般社団法人八千代歯科医師会、東京医科歯科大学高齢者歯科学分野、八千代市(後援)
一般社団法人	東京都文京区歯科医師会	東京都文京区における8020達成者の追跡調査	東京都文京区歯科医師会8020委員会28名、東京歯科大学歯科矯正学講座、東京歯科大学衛生学講座
一般社団法人	東京都本所歯科医師会	高齢者歯科健康診査事業および歯科からの多職種連携へのアプローチ	一般社団法人東京都本所歯科医師会
公益社団法人	東京都足立区歯科医師会	障がい者歯科診療事業の一環としての障害者摂食機能療法の普及事業	事業実施者：公益社団法人東京都足立区歯科医師会 協力団体：日本大学松戸歯学部 障害者歯科学講座
一般社団法人	東京都中野区歯科医師会	高齢者の口腔機能向上への取り組み	一般社団法人東京都中野区歯科医師会

公益社団法人	東京都町田市 歯科医師会	高齢者歯科口腔機能健診	町田市、公益社団法人東京都町田市歯科医師会
一般社団法人	東京都東久留米市 歯科医師会	東久留米市歯科医師会歯科保健普及啓発事業（親と子の歯っぴーライフ・歯と歯ぐきの市民健康フェスタ）	一般社団法人東久留米市歯科医師会（東久留米市および公益社団法人東京都歯科衛生士会に協力依頼）
一般社団法人	横浜市歯科医師会	横浜市における障害児者歯科診療の実態調査	一般社団法人横浜市歯科医師会、神奈川県立こども医療センター、鶴見大学歯学部、神奈川歯科大学、神奈川歯科大学附属横浜クリニック、横浜市総合リハビリテーションセンター、横浜保土ヶ谷中央病院、横浜療育医療センター、横浜医療福祉センター港南、横浜市立脳卒中・神経脊椎センター
公益社団法人	長野市歯科医師会	障害者施設での歯科健診、および口腔ケアの実施	公益社団法人長野市歯科医師会
一般社団法人	上伊那歯科医師会	「地元密着 体験型介護予防事業」～口腔機能の向上による介護予防の提言～	上伊那歯科医師会、上伊那口腔保健センター、辰野町（保健福祉課・町立辰野病院・保健補導印）北大出区・羽場区社会福祉協議会・介護士円専門員協会・小麦野菜等生産者・商工会・松本歯科大学・医師会等に協力を要請し、実施組織を構成
一般社団法人	吹田市歯科医師会	吹田市版医科歯科連携糖尿病患者管理システム構築のためのパイロット事業	実施組織：一般社団法人吹田市歯科医師会 事業協力：一般社団法人吹田市医師会
一般社団法人	西宮市歯科医師会	成人期（二十歳）の歯、口腔の健康づくり推進事業	一般社団法人西宮市歯科医師会
一般社団法人	広島市歯科医師会	オーラルフレイル早期発見のための住民啓発事業	一般社団法人広島市歯科医師会、広島市内地域包括支援センター、広島市介護支援専門員協会
一般社団法人	福岡市歯科医師会	地域密着8020推進事業（口腔と認知症の関わり）	福岡市歯科医師会
公益社団法人	始良地区歯科医師会	始良地区三師会（医師会・薬剤師会・歯科医師会）による糖尿病・歯周病医療連携事業	始良地区歯科医師会・始良地区薬剤師会、始良地区医師会
公益財団法人	ライオン 歯科衛生研究所	職域成人における歯科口腔保健の普及啓発事業～健康保険組合における被保険者の現状把握と予防歯科の情報発信～	公益財団法人ライオン歯科衛生研究所
	名古屋市 学校歯科医会	120 運動独立校事業	名古屋市学校歯科医会

NPO 法人	日本フッ化物むし歯予防協会	全国各地域で取り組む水道水フロリデーション住民学習活動	企画運営を行う[NPO法人 日本フッ化物むし歯予防協会]と、種々の具体事業を展開する以下の協賛団体及び学術支援団体を実施組織とする。 協賛団体 1. 市民団体：[吉川市フロリデーション推進協議会(埼玉県)]、[あゆの会(富山県)]、[長崎フロリデーション協会]、[北海道子どもの歯を守る会]、[健康増進ネットワークおかやま] 2. NPO法人：[ウォーターフロリデーションファンド] 3. 県行政：[新潟県] 学術支援団体 1. 歯科医師会：[山梨県歯医会]、[川崎市歯医会]、[富岡甘楽歯医会] 2. 歯科学会：[日本口腔衛生学会フッ化物応用委員会] 3. 歯科大学：[鶴見大学歯(地域歯科保健)]、[神奈川歯大(口腔衛生)]
特定非営利活動法人	南日本日本口腔機能支援研究会	口腔機能発達不全症普及啓発活動事業	1) 特定非営利活動法人南日本口腔機能支援研究会 2) 鹿児島大学大学院歯学総合研究科小児歯科学分野
	埼玉県吉見町	住民参加型歯と口腔の健康づくり推進事業～町ぐるみで進めるライフステージに応じた歯と口腔の健康づくり～	吉見町、〇八(よいは)の会(住民ボランティア団体)、比企郡市歯科医師会、 (公社)埼玉県歯科衛生士会北部支部

### (7) 調査研究事業「歯科医療による健康増進効果に関する調査研究」の実施

本財団では、都道府県歯科医師会等の協力を得て、健康長寿社会の実現に寄与する歯科医療・口腔保健を一層充実させることを目的に平成26年度より実施している「歯科医療による健康増進効果に関する調査研究」の調査結果の概要について3月発行の日本歯科医学会誌第38巻に論文として掲載した。また、本年度も第4回追跡調査として平成30年10月末から実施した。

### (8) 第2回永久歯の抜歯原因調査の実施

平成17年2月に実施した永久歯の抜歯調査の第2回調査を実施した。本調査は日本全国を対象とした唯一の調査であり、歯の健康に対する普及啓発を行う際の資料として、関係方面からの照会が多いことから、この度、8020運動30周年の節目に第2回調査を13年ぶりに実施した。

調査は日本歯科医師会と共同実施とし、歯科医師会会員から抽出された5,250名を対象とし、6月に実施し11月に調査結果を報告書としてまとめた。

調査結果・報告書は関係団体、報道機関などにも送付し広く周知した。

### (9) 会誌「8020」の発行

会誌「8020」は、国民の方向けと歯科関係者向けの2部構成として編集し、一般の方が日常生活で役立つ身近な歯と口の健康情報と、歯科関係者を通じて役立つ専門的な情報をも盛り込んだ構成として平成30年12月に発刊し、賛助会員はじめ関係方面に配付した。また、国民の方向けページは別冊を作成し、広く配布し周知した。

**(10) 8020推進財団理事長賞の贈呈**

8020運動の積極的な普及啓発を目的に、8020達成者に対して8020推進財団理事長賞を贈呈した。被表彰者の推薦は、各都道府県歯科医師会を通じて推薦申請が出され、表彰は都道府県歯科医師会が行っている表彰事業にて行っている。

本年度は8020運動30周年であることから、各都道府県からの推薦者数を各30名に広げ、8020達成者を広く表彰した。

平成30年度（平成31年3月31日現在）は青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、千葉県、埼玉県、東京都、山梨県、長野県、新潟県、静岡県、愛知県、三重県、岐阜県、富山県、石川県、福井県、滋賀県、奈良県、京都府、大阪府、広島県、島根県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、長崎県、大分県、熊本県、宮崎県の37都道府県より申請があり賞状を授与した。

**(11) 8020運動・プレゼント・アンケートキャンペーン（第9弾）**

平成30年12月1日から平成31年2月末日までの3ヵ月間、本財団のホームページにおいて、一般の方を対象とした8020運動等に関するアンケートを実施し、抽選で200名に株式会社ロッテの協力により賞品をプレゼントした。アンケート調査結果から「8020運動」の認知度が73%であること等がわかった。

**(12) 歯科口腔保健法の制定及び歯科保健条例の制定マップについて**

歯科口腔保健法が平成23年8月10日に公布され、また各都道府県においても「歯科保健条例」が次々と制定されている。今後は、未だ制定されていない県の制定化と、また、制定県においては健康づくりの具体的な計画立案が期待される。平成31年3月現在、43道府県で制定済である。

歯科保健条例の制定状況は本財団HP内に条例マップを設け随時更新の上、案内している。

**(13) 会員レターの発行**

年2回（8月に第24号・3月に第25号）の会員レターを発行し、活動報告等に関係方面に配付・報告した。

**(14) 賛助会員証の発行**

本年度の入会者に賛助会員証を発行・送付した。

**(15) 国民向け啓発小冊子の作成**

1) シニア向け啓発小冊子の作成

一般財団法人宝くじ協会の助成を受けて国民向け小冊子「美味しく食べようお口が健康になると体ぜんぶ生き生き！究極の健康法は口から」を作成し、平成30年12月に作成し、11万部を関係各所等へ送付した。

2) 中高生向け小冊子の作成

本財団で作成している啓発小冊子や、8020運動の周知状況において中高生への周知が不足していることから、中高生向け小冊子「未来のために今から実践！目指せ！歯みがきマイスターBOOK」を平成30年12月に作成し、平成31年2月に全国の公立中学校・高等学校、関係各所等に送付した。また、HPではこの内容を充実させたコンテンツを制作・追加し、広い年齢層への周知に活用している。

#### (16) 噛むカムチェックガムを用いた8020普及啓発事業

国民参加型の8020運動ツールとして行っている噛むカムチェックガムを用いた普及啓発事業は、平成27年度にてガムの配布を一旦休止していたが、8020運動30周年となる本年度、改めて展開方法等の検討を行った。本事業を通じて、社会に咀嚼や歯と口の健康、全身の健康とのつながりなどの一層の周知を行うために、ガムの配布に留まらず、参加者により一層の認識を図るよう整備した。

事業実施に際しては、噛むカムチェックガムの使用方法・評価判定方法を誰でもわかるように動画を作成しHP・youtubeで公開し、事業展開については歯科医師会の協力を得て各都道府県での口腔啓発事業等に取り入れた展開を整備した。

#### (17) ホームページの整備

本財団の主な活動である「8020」運動のさらなる周知・発展、歯と口の健康及び全身との関係に関する情報の収集・提供・調査研究を、広く国民・社会に周知し・様々な情報の活用のために本財団のHPを平成13年に作成し、情報の追加更新を行いつつ、およそ4年毎にデザインの見直しを行ってきたが、閲覧環境や周知経路が大きく変化したことから、8020運動30周年を機に、構成・コンテンツの見直しを含む大幅なリニューアルを行った。

どこでも、誰でも、いつでも、知りたい情報にアクセスできるように、レスポンス対応等の基盤整備を行うと同時に、コンテンツの見直しを行い、年齢層毎の8020達成のためのポイントやハミガキ習慣を楽しく習得・レベルアップを促す新コンテンツなどを作成し、国民参加型のHPとして情報を追加更新できるように整備した。